

宇宙望遠鏡と宇宙 SF のお話

参議院選挙が終わりましたね…ではなくて…ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡 (JWST) が観測活動を開始しましたね。下の NASA の HP など、すばらしい写真が公開されています。

<https://www.nasa.gov/webbfirstimages>



東京は夜空が明るいため、なかなか星を見上げる機会に恵まれません。少し遠出をすれば、暗い夜空を見上げられる場所もあります。夏休みなどで遠出する機会や、流星群や月食などの天文イベントがニュースで取り上げられる機会には、ぜひ夜空を見てみて下さい。望遠鏡を使わなくても、肉眼で十分に美しい宇宙にふれることができると思います。



2021年11月の（ほぼ皆既）月食



2012年5月の金環日食

フィクションの世界でも、宇宙は魅力的な舞台であるようで、宇宙を舞台にした映画やアニメ、マンガはとてもここには書ききれないほどあります。

近年（ここ 10 年ほど）日本で話題になったもの（あくまでもあん Do の観測範囲ですが）として思いつくのは

「宇宙兄弟」「プラネテス」などのアニメ、「オデッセイ」「スター・ウォーズ」シリーズなどの映画があります。

古典であれば「宇宙戦艦ヤマト」「機動戦士ガンダム」シリーズ、「マクロス」シリーズ、「銀河英雄伝説」「銀河鉄道 999」などのアニメ、「2001 年宇宙の旅」「エイリアン」シリーズ、「スター・トレック」シリーズ、著名な天文学者カール・セーガン博士の「コンタクト」などの映画が挙げられると思います。

現在の宇宙論に照らして正しいとは言えない描写を含むものも少なくありませんが、宇宙というものに興味をかきたてるには十分すぎるほどの質と量だと思います。家族でわいわい見てみるのも楽しいのではないのでしょうか。

22/7/13 あん Do